

日本鐵鋼協會記事

理事會 昭和5年4月9日(水)午後5時開會 協議事項 1) 服部博士記念資金利用方法に關する件 2) 工業品規格統一調査會より照會の鐵及鋼硫黃分析法統一案に關する件 3) 名譽會員推薦に關する件 4) 秋季大會に關する件。

編輯委員會 昭和5年4月9日(水)午後5時開會 出席者 川上義弘 室井嘉治馬 田中清治 三島徳七 海老原敬吉 鹽澤正一 協議事項 鐵と鋼第16年第5號論文原稿及第16年第4號掲載抄録原稿選定の件。

社團 日本鐵鋼協會第15回通常總會記事

- 1) **開會場所** 東京市京橋區銀座西8丁目7番地 日本鑛業會館講堂
- 2) **開會日時** 昭和5年3月29日(土曜日)午後2時20分
- 3) **出席者** 總數99名
- 4) **議案** 下記の通

昭和4年度會務報告

自昭和4年3月1日
至昭和5年2月28日

1 集會	通常總會	1回	理事會	13回
	評議員會	1回	編輯委員會	12回
	講演會	2回	臨時總會	1回

2 會員異動

	名譽會員	維持會員	贊助會員	正會員	准會員	計
入會者	—	1	—	48	68	117
退會者	—	—	—	32	32	64
死亡者	—	—	—	10	2	12

死亡者氏名

正會員	松下徳次郎君	内海幸太郎君	守谷吾平君
	野村格藏君	川合茂雄君	田上禎吉君
	安田善三郎君	山崎平準君	淺川柳作君
	高橋章藏君		
准會員	吉竹一三君	小野澤浩君	

以上會員12氏を喪ひたるは痛惜の至りなり。尙諸氏の訃に接しては直に弔詞を呈し哀悼の意を表し置けり。

3 會員總數

	名譽會員	維持會員	贊助會員	正會員	准會員	計
期末現在	7	25(43口)	20	713	617	1,412
同年同期比較		+1(+9口)		+6	+34	+41

備考 本年度に於て新に維持會員加盟者及口數増加せられたる社名次の如し。

株式会社小松製作所 (新) 1 口 製 鐵 所 (増) 8 口

(外に戸畑鑄物株式會社の 1 口加盟あるも昭和 5 年 3 月 5 日附承諾せるを以て翌年度に計入するものとす)。

- 4 會誌及印刷物の刊行 本會々誌「鐵と鋼」は第 15 年 3 號より第 16 年 2 號迄毎月 1 回發行せり。
- 5 明治工業史鐵鋼編出版 工學會より委託を受け本會の編纂に係る「明治工業史鐵鋼編」は同會より本年度出版せり。
- 6 調査事項 過般昭和 3 年 11 月大阪市に於て本會第 3 回研究部會開催に上議せる「本邦に於てトーマス製鋼法採否に關する討議録」を輯録印刷し本會機關誌「鐵と鋼」第 15 年 8 號に附録として又同時同市に「鐵鑄物改善に關する研究部會」開催せる其討議録を同年 12 號に上梓し「鑄物號」として會員一般に配布公表せり。
商工省工業品規格統一調査會より照會の「鐵及鋼燐及滿俺分析方法規格案」に對し回答し置きたり。
- 7 資源局より諮問の科學的研究に關する不備缺陷の事例調査に關する件 本件に就ては本年講演大會を機とし研究部會を開催し審議の上回答する旨返答し置きたり。
- 8 圖書寄贈總數 本年度に於て寄贈を受けたる圖書部數 360 部
- 9 事務所々在地々名番地變更 舊名麴町區有樂町 1 丁目 1 番地東通 7 號館なるを昭和 4 年 4 月 15 日より麴町區丸の内 3 丁目 2 番地東 7 號館と改稱實施されたる爲め昭和 4 年 4 月 15 日臨時總會を開催し、本會定款第 1 章第 1 條變更の件決議し、其の決議録を添附し其旨文部大臣に申請し 5 月 16 日附を以て認可を得たり。
東京區裁判所には 4 月 23 日登記す。
- 10 事務所移轉 昭和 4 年 11 月 22 日事務所を 3 階より 2 階に移轉せり、其の新舊次の如し。
- | | | | | |
|-----|---------|-----|-------|----------|
| 舊 室 | 東 7 號 館 | 3 階 | 坪 數 | 9.5 |
| 新 室 | 同 館 | 2 階 | 22I 室 | 坪 數 14.0 |
- 11 海事協會技術委員推薦 同協會より囑託の同委員任期滿了に付き次記の三氏を理事會の決議を以て推薦す。
海事協會囑託技術委員 今泉嘉一郎君 俵國一君 河村 曉君
- 12 萬國工業會議外人出席者招待會 昭和 4 年 4 月 11 日午後 3 時 30 分より日本鐵鋼協會及日本鑛業會聯合の下に同會議出席外人の内鑛業、鐵鋼業に關係ある諸氏を團男爵邸へ招待し園遊茶會を催したり。出席者總數内外人合計 180 餘名
- 13 服部博士記念資金本會へ寄贈 以上は理事會、評議員會等の決議を以て「服部博士記念資金寄附條件」に従ひ受領せり。資金概算書並寄附條件次に掲ぐ。

資 金 概 算 書

現 在 金	19,260. ⁰³
昭和 5 年 1 月迄利子見込額 (年三分六厘)	377. ⁸⁶
計 金	19,637. ⁸⁹

備 考 以上概算より資金の結末を寄附者各位に報告する事を要す。

其他雜費多少可有之に付其資丈け減額の事

服部博士記念資金寄附條件

- 一 本記念資金の一部 (壹千圓以内) は寄附者の意向により博士の胸像資金に充當の事
 - 二 本記念資金の保管は日本鐵鋼協會に於て確實なる信託會社に現金又は帝國公債を以て信託する事
 - 三 本記念資金の使途及其決定は次の方法に據る
 - (1) 鐵鋼に關する學術並に技術の發達上に貢獻し特に推奨に値するものに對する表彰並其他鐵鋼に關する調査研究資金に充當する事
 - (2) 前項の表彰に關する調査は毎年一回以上之を行ふ事
 - (3) 以上の表彰並調査研究資金の支出に就ては日本鐵鋼協會の選出したる委員 (委員中に官立製鐵所員を加ふる事) 協議の上之を決定する事
 - 四 本記念資金は夫れより生ずる利息のみを使用するものとす
 - 五 日本鐵鋼協會は毎年一回本記念資金の收支計算をなし之を日本鐵鋼協會雜誌に掲載報告する事
- 14 講演會 本年度は過般開催の萬國工業會議主催者に加盟しれば講演大會を舉行せず。

通常講演會 2 回開會せり。其の講演者並に演題次の如し。

演題及講演者氏名

昭和 3 年に於ける内外製鐵鋼業の概況 (第 14 回總會開會の辭)

鎔鐵爐の研究に就て

歐米に於ける電氣製鋼爐最近の傾向

歐米に於ける耐火物利用發展の現状に就て

會長 工學博士 服部 漸君

製鐵所技師工學士 平川 良彦君

大同電氣製鋼所取諦役 工學博士 川崎 舍恒三君

製鐵所技師 加藤 孝治君

15 萬國工業會議開會の件 本會は同會議主催員たり而して本會長たる服部漸君を同會議副會長に推薦され、其の他重要委員を本會より推舉し、尙本會員にして同會議へ論文提出者は 65 名ありたり。

以上報告候也

昭和 5 年 3 月 29 日

日本鐵鋼協會 會長理事 工學博士 服部 漸

昭和 4 年度收支決算報告 (自昭和 4 年 3 月 1 日 至昭和 5 年 2 月 28 日)

收入之部		支出之部	
科 目	金額	科 目	金額
維持會員會費	4,400.00	會誌印刷費	9,355.81
正會員會費	6,281.10	凸版及寫真版製作費	881.11
准會員會費	4,473.60	別刷製作費	556.97
正會員入會金	69.00	約束郵便料	458.82
准會員入會金	69.00	會合費	284.90
會誌分讓料	895.84	借室料	1,342.50
廣告料	2,208.30	報酬及手當	2,840.00
社債及公債利子	3,019.66	事務費	2,059.58
振替貯金利子	9.43	工學會費	100.00
銀行預金利子	163.16	原稿料	178.41
雜收入	257.16	外人招待會負擔金	400.00
寄附金	100.00	萬國工業會議負擔金	450.00
社債償還利得金	90.00	萬國工業會議諸雜費	124.01
信託預金利子	275.37	トーマス製鋼法印刷物代	228.15
萬國工業會議負擔金 (別途備金より入)	452.90		
トーマス製鋼法研究部會費 (")	228.15		
計	22,992.67	計	19,260.26
差引過	3,732.41	什器購入費	184.00
		圖書購入費	59.40
		借室料敷金追加金	135.00
		約束郵便擔保追加	137.84
		計	516.24
計	22,992.67	二 口 計	19,776.50
再差引過	3,216.17		

財 産 目 録

昭和5年2月末日現在 (増減欄の+は増、-は減を示す)

摘 要	昭和4年2月 末日現在	昭和5年2月 末日現在	差引増減
1. 圖 書	519-81	234-00	- 285-81
2. 什 器	925-12	549-00	- 376-12
3. 有價證券(券面46,150 ^{〇〇}) (金額44,758 ^{〇〇})			
東京電燈株式會社々債第7回内	¥ 13,000 ^{〇〇} 12,870-00	12,870-00	
同 上物上擔保附路號	¥ 1,000 ^{〇〇} 910-00	910-00	
東京モスリン株式會社々債第3回波丙	¥ 7,000 ^{〇〇} 6,867-00	6,867-00	
山陽中央水電株式會社々債第6回丙	¥ 6,000 ^{〇〇} 5,880-00	5,880-00	
京濱電鐵株式會社々債第4回波	¥ 3,000 ^{〇〇} 2,986-50	2,986-50	
東京市電氣事業公債第4回甲	¥ 5,000 ^{〇〇} 4,300-00	4,300-00	
第6回東京府農工債券	¥ 10,000 ^{〇〇} 9,910-00		+ 9,910-00
白山水力電氣株式會社々債	¥ 10,000 ^{〇〇}	9,900-00	+ 9,900-00
4. 會誌發行擔保金			
帝國五分公債甲路號	¥ 1,000 ^{〇〇} 907-00	907-00	
5. 約束郵便擔保金(公債額面¥150 ^{〇〇}) (現金155 ^{〇〇})	155-00	292-84	+ 137-84
6. 借室料敷金	285-00	420-00	+ 135-00
7. 振替貯金			
振替貯金基本金	10-00	10-00	
振替口座殘高	242-76	189-97	- 52-79
8. 銀行預金	3,295-66	6,193-54	- 2,897-88
9. 信託預金	5,227-79	5,503-16	+ 275-37
10. 現金	14-90	120-61	+ 105-71
計	55,306-54	58,133-62	増 2,827-08

備 考

金 58,133-62 圓也	本年度末資産現在高
内	
金 55,306-54 圓也	昨年度末現在高
金 3,226-17 圓也	本年度收支、收入増
金 243-40 圓也	什器圖書購入
金 10,173-84 圓也	本年度有價證券及擔保金追加高
計 金 68,938-95 圓也	
内	
金 9,910-00 圓也	本年度有價證券償還
金 905-33 圓也	本年度什器圖書價格低減及消却
計 金 10,815-33 圓也	
差引金 58,133-62 圓也	本年度末現在高
昨年度末對增加高	金 2,827-08 圓也

昭和5年度收支豫算 (自昭和4年3月1日
至昭和5年2月28日)

收入之部		支出之部	
科目	金額	科目	金額
維持會員會費	4,300-00	會誌印刷費	8,800-00
正會員會費	6,350-00	凸版及寫真版製作費	850-00
准會員會費	4,428-00	別刷別刊印刷費	500-00
入會費	150-00	原稿料	200-00
廣告料	2,272-00	約束郵便料金	450-00
銀行預金及振替貯金利子	200-00	事務費	2,067-50
公債及社債利子 (額面合計 46,150.00)	3,087-50	報酬及手当	2,870-00
信託預金利子	280-00	借會室料	1,680-00
會誌分讓代金	500-00	會合費	300-00
雜收入	100-00	什器費	150-00
		圖書費	50-00
		工會費	200-00
		大會費	1,000-00
		豫備費	2,550-00
合計	21,667-50	合計	21,667-50

上記之通り報告候也

昭和5年3月29日

社團法人 日本鐵鋼協會

會長理事 工學博士 服部 漸

5) 議事の模様 午後2時20分開會、會長服部漸博士先づ立つて下掲の通開會の辭を述べ、上記議案を審議せり。その進行狀況次の如し。

○會長(服部漸君) それでは是から開會いたします。

本日第15回通常總會並に講演會を開くに當りまして、私から一言皆様の前に所感を述べることは大なる光榮と致す所であります。本會の仕事も理事の方々又編輯員の方々其外役員諸君の熱心なる御努力に依りまして、年と共に段々發展を致しまして、會誌の内容に於きましても獨創的研究の意見發表、又は統計的の重要なる數字、其外商況の詳細なる記事と段々と内容を充實いたしまして、此會の信用も向上し、雜誌の發行部數も段々に殖えて來、又財政に於きましても維持會員が段々に殖え、又寄附金もあり、追々と都合の宜しい方に向つて居りまして、自然本會の事業發展と云ふ傾向が色々なことで現はれて居ると云ふことは、直接に仕事をされて居る方々の御盡力は無論のことですけれども、又一般會員諸君の御援助と云ふことには是は基くことと私は深く感謝の意を表する次第であります。又昨年東京に於て開かれました萬國工業會議、此會議は皆様も御承知の通り誠に未曾有のものでありまして、本會々員の中にも多數の論文を提出せられ、又外國の方々の論文も發表せられまして、互に相接觸して誠に貴重なる新知識を交換する事が出來て學術上又技術上少からざる利益を得ましたことは、お互ひに喜ばしいことと信ずるのであります。又此萬國工業會議の開催に依りまし

て、外人の中には日本は富士山の秀麗又は山水の美、櫻の花で誇る國であつて、工業と云ふことはあるにしてもまだ兒戯に等しい幼稚なものであると云ふやうに考へて來た人に對しては、各方面の見學旅行などに依て大いに啓發を與へた場合があつたやうであります。又それと同時に外人から色々な好刺戟を與へられたことも少くなかつたのであります。例へば地方見學に依て各方面に設備の完備した研究機關があり、試験所があり、又之に従事されて居る所の研究員の方々は立派な學識を持つた人々であると云ふやうなことで、非常に是等の研究所なり試験所を見られた人は賞讃の聲を漏らさるゝのを聞きましたが又それと同時に斯かる立派な研究所なり試験所なりがあるに拘らず、實際の作業との連絡がうまく行つて居ないやうであると云ふやうに、眞面目な研究者の口からは批評が出て居ることも聞いたのであります。是等は既にお互ひの間でも氣付いて居る點でありまして、兎角日本の今日の狀況で以て何でも杓子定規にやり、兎角實際と研究との間が融和しないと云ふことの現はれを、外國人が之を見て云つたことでありまして、誠に此批評は他山の石として我々は考慮すべきことゝ感じた次第であります。此頃總てのものに對して合理化と云ふ言葉が一般に流行になつて居りまして、合理化を實際化すると云ふことは我々の製鐵工業に對しても最も急務であると信ずる次第であります。此合理化の實際化と云ふことに依りまして製品の合格率の向上と云ふことにもなり、又技術上の是は熟練と云ふことを増す結果になり、従つて大量生産と云ふことになり、又大量生産は生産費が低下すると云ふことになるものと思ひますが、兎角日本では何の生産に拘らず理論は非常に優秀であつても、之を實際化すると云ふ點に至つてはまだ十分になつて居ないと云ふ點があるやうに思はれるのであります。本年の秋北海道で鐵鋼協會の講演會を開くと云ふことになつて居りますが、之と同時に研究部會も開く筈でありまして、此研究部會の題目も日本に於ける研究所の人達に依て腹藏のない意思の交換をやつて貰ふ。即ち是も研究と實際とを融和すると云ふことの目的を以て、斯う云ふ題目で一つ研究會を開いたならばと云ふ趣旨に外ならぬのであります。どうぞ各工場に關係を持つて居られる方々にしましても、工場で得られた所の貴重なる經驗と云ふものを研究する人に與へて頂き、又研究される人は自分の所で研究したことは之を工場の人にヒントを與へて、お互ひに相融和して日本全體としての工業を盛んにすると云ふ點にお互ひに是は注意して行かなければならぬと信ずるのであります。それで此秋の講演會に於きましても學究的人々の講演を希望するのは勿論のことでありするけれども、同時に又工場で實際の仕事に従事されて居る方々の貴い經驗と云ふものを此秋の講演會には成べく多數提出せらるゝことを歓迎いたしまするので、双方相俟つて此目的を達したいと思ふのであります。何時も本會の開會の辭と致しまして、前年の世界に於ける鐵鋼の製造なり商況なりに付て述べることにして居りますけれども、是等の數字は又別に「鐵と鋼」の雑誌に現はれる機會があらうと思ひますから、今日は聊か私の感想を述べて開會の辭と致したいと思ひます。

○會長(服部漸君) 是より議事に入ります。初めに皆様にお諮りして置きたいと思ひますのは、此役員改選の投票を開くの二時間もかゝることでございまするので、時間節約の爲に例年の通り兩三名お立會を願ひまして、別室で

開票を行ふことにしたいと思ひますが、お差支へございませうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○會長(服部漸君) それでは一つ恐れ入りますが島岡さん、安達さん、鹽澤さんの御3名に開票にお立會をお願いしたいと思います。それから開票をして居られる間に會務報告に付てちよつと申し上げたいと思ひますが、會務報告は御手許に刷物が差上げてございますので、是も皆を朗讀することを省きまして、それを御覽を願ふことにしたいと思ひます。たゞ二、三此處に私から申上げて置きたいと思ひますことは、鐵鋼協會の會員の異動は2月末現在の總數が1,412人でありまして、是は前年に比して41人の増加になつて居ります。それから死亡せられた御方は12人、何れも哀悼の至りでありまして、其都度本會からは弔辭を差上げて置いたのであります。殊に此中で田上君は御洋行中の御不幸でありまして、誠に御同情に堪へない次第であります。それから維持會員は25人でありまして、口數で43になつて居ります。是は前年の此期に對照いたしますと、會員の數としては1人を増し、口數では9つを増して居ると云ふことになつて居ります。又3月以降更に1人1口の申込を受けて居る次第であります。それから講演會は僅かに2回でありましたけれども、萬國工業會議の開催がありました爲に講演會の數は少いのであります。大いに效果は擧つたと思ひます。會計報告も皆様の御手許に廻してあるやうな次第でありまして、結局本會の財産は年度末即ち2月末に於ける現在では5萬8千1百33圓62錢と云ふ數になつて居りまして、前年のそれと對照いたしますと2千8百27圓8錢の増加になつて居ります。尚ほ御手許に廻してあります收支決算豫算等に付きまして御尋ねがございましたら、どうぞ御提出を願ひたいと思ひます。尚ほ此際一言申上げて置きたいと思ひますのは、御手許に廻つて居る書類の中にもございますが、私自身に對する記念資金を本會に寄附いたしました次第であります。是は全く皆様方の御厚情に依て集まりましたもので、私は衷心皆様方の御同情に對して感謝いたして居る次第であります。細かい數字のやうなものは此書類で一つ御覽を願ひたいと思ひます。

○門野重九郎君 御尋ね致しますが、收支決算の所に別途備金より入と云ふのがありますが、備金は何處かにあるのですか。下の方に萬國工業會議負擔金とトーマス・プロセスの研究の費用として出して居りますのは……、收入の方に別途備金より入とありますが、豫算の意味ですか。或は何處かに別途の備金と云ふものがあるのですか。

○會長(服部漸君) 是は萬國工業會議の負擔金と云ふものがあつたのです。

○門野重九郎君 それを何處からか繰出して來て4百52圓90錢收入にして、4百50圓お拂ひになつて居る。是は何處かに別途備金と云ふものがあるのですか。

○會長(服部漸君) 是は萬國工業會議に對して寄贈金を受けた費用と私は思つて居りますが、萬國工業會議をやるに付て寄贈された金が別途の金額になつて居ると私は記憶して居ります。會員の寄附金であります。9百圓分擔と云ふことで9百圓集める目的でやつたのが、是だけ集まつたのであります。

○門野重九郎君 トーマスの方も出たのですか。

○理事(河村驍君) トーマスの方は全く別途で勘定して居つたのです。それを剩餘金を入れた譯です。

○會長(服部漸君) それでは一つ御報告を願ひます。

○島岡亮太郎君 開票の結果を御報告申し上げます。當選になつた方は、會長に依國一君理事に依國一君、河村驍君、種子田右八郎君、渡邊三郎君、松下長久君、以上五名、評議員に伊藤乙次郎君、井上克巳君、原田鎮治君、濱田彪君、林幾太郎君、西村小次郎君、大塚榮吉君、加藤榮君、門野重九郎君、川上義弘君、川部孫四郎君、横堀治三郎君、田宮嘉右衛門君、中井勵作君、永田五郎君、永留小太郎君、梅野實君、梅根常三郎君、久保田省三君、工藤治人君、黒田泰造君、山下興家君、牧田環君、佐堂卓雄君、齋藤大吉君、寒川恒貞君、吉川晴十君、湯川寛吉君、水谷辰彦君、

杉村伊兵衛君、以上三十名であります。

○會長(服部漸君) 役員改選の結果は只今御報告申上げた通りであります。只今の收支決算報告の次に5年度の收支豫算が御手許に出て居ります。是は若し御質問がございますならばお願い致します。是で宜しければ……ちよつと一言申し上げますが、5年度の收支豫算を組みます場合に前年度のものを見合はして略々之を組んだものでございまして、簡単にちよつと御説明を致しますが、維持會員會費の4千3百圓と云ふのは現在43口でありまして、それから正會員の會費と云ふのも現在が705名の正會員でありまして、之を多少殖えるものとして6千5百圓、6千5百圓と申しますと、ちよつと722人ばかりになる計算になつて居る。準會員の方も現在は615名であります。それを625名位には殖えるものと見まして、4千500圓と云ふ豫算を組んだのであります。それから入會金も前年度は138圓と云ふ實數が出て居りますから、150圓と云ふやうに計上したのであります。それから廣告料に於きましても略々前の數字に近い數字を此處に現はし、貯金の利子其他總て前年のものを標準として此處に組んだ譯であります。此處に社債公債利子と云ふものが3千87圓50錢と云ふのが約6パーセント程に當る利子になつて居る。それから信託預金の利子も前年度が約5パーセントであつたからして、斯う云ふことにしてあるのであります。収入の方はさう云ふ譯であります。支出の方に致しましても、會誌印刷費、さう云ふものは現在實際に支出して居るものを標準とした譯であります。それから此處に豫備費として2千5百50圓と云ふものを計上してございませぬのは、前年にも其中から色々なものを支出したからであります。

○理事(河村驍君) 先程收支決算のことで門野さんから御尋ねがありましたが、別途備金より入れたと云ふことが書いてありますが、まだ多少疑義があつたやうであります。是は前年度から引續いた金らしいです。前年度全體として集まつた金が900圓ばかりあつた。是は前年度から續いて居つた。今年度を集まつたものが4百52圓90錢、それだけはそれから4百50圓と云ふものを支出したと云ふことになつて居ります。それからトーマスの方は鐵鋼協議會の方から400圓収入になつて、其中から2百28圓45錢と云ふものを差引いたものが前年度に支出になつて居る、其残りが2百28圓、それから別刷などを澤山拵へて方々へ配つた爲に此2百28圓15錢では足りなかつた。其爲に支出してしまつた。さう云ふものを書き方が悪い爲に、別途にそれを勘定して居つたものを、其事項が済んだものですか一括して茲に掲げた譯であります。

○會長(服部漸君) 豫算は是で御承知を願つたことにして差支がございませぬか——それでは只今の役員改選の結果と致しまして、私此處にちよつと申上げて置きたいと思ひますのは、只今の改選の結果御當選になりました松下長久君が理事になられました結果、松下君は留任評議員をして居られる御方で、それで留任評議員の方に1人缺員が出来る譯でありますから、其補缺を行ひたいと思ひます。正會員の石川君は海軍技術研究所の技師であられて、關東鑄物懇話會の會長でもあられる石川君を補缺選舉として評議員會に掛けたいと思ひます。此動議に御賛成がございませぬば成立つたものと致しまして、評議員諸君の御賛成を願ひたい。(拍手起る)

○會長(服部漸君) それでは石川君を松下君の補缺としまして評議員に決定いたしました。それから此處にちよつと御報告申上げて置きたいと思ひますのは、御手許に廻つて居ります獨逸のゲハイムラート・ウヌスト先生を名譽會員に推薦すると云ふことであります。是は先達つて評議員會に於きまして推薦することに決定いたしました。斯う云ふ有名な先生であり、尙ほ日本から獨逸に參られた人は始終先生の爲に便宜を得て居ると云ふやうな關係もあり、將來の爲にも此製鐵事業に對し、又萬端名譽會員となつて頂ければ都合が宜からうと云ふ意味で推舉いたしました譯であります。此場合私から御報告申上げます。どうぞ諸君に於かれましても御賛成下さいまして、御承認を願ひたいと思ひます。(拍手起る)

○河村曉君 ちよつと動議がありますから發言をお許し願ひたいと思ひます。

○會長(服部漸君) 宜しうございます。

○河村曉君 只今議長より獨逸のゲハイムラート・ウエスト先生を名譽會員に推薦すると云ふことに付て、御報告並に皆様に対して御賛同を求められたのでありますが、私から申し上げますのは甚だ僭越でありますけれども、服部博士を本會の名譽會員に推薦すると云ふことに付て御賛成を願ひたいと思ひます。服部博士は製鐵界に於ける功勞及び其徳望に付きましては、事新しく今私が申上げる必要もなからうと思ひますが、極く簡単に申し上げますと、八幡の製鐵所に二十有餘年間御勤務になりまして、始終同所の樞機に參畫して、色々技術上の改良進歩をお圖りになりましたことは顯著なる御方であります。製鐵所を御辭任になりましてから我國と最も關係の深い支那の漢冶萍の煤鐵公司の最高顧問となられまして、邦家の爲に盡されたのであります。其間民間に於ける各所の製鐵所の熔鑪の建設創業に付て多大なる御盡力又御指導をも惜まれなかつたことも、皆がよく承知して居ることです。漢冶萍の製鐵所を御辭任になつた後東京にお歸りになつて、丁度時恰も本會の役員の選舉期でありましたので、早速お願ひ致しまして本會の會長に推薦し、會長に御當選になりましたから本會の爲に始終専心に御盡力下さいまして、諸般の整理がよく行届いたのみならず、會の基礎も非常に鞏固になつたのであります。是等は極くほんの博士の御功勞の一端を述べましたのでありますが、とても僅かな時間では其詳細を悉すことは出來ないのであります。今回改選期に當りまして老年の故を以て理事に留任することを御辭退になりました。前會長として無論理事會評議員會に出席されて御指導を受ける次第ではありまするが、御辭任になりました此機會を以ちまして服部博士の功勞に對しまして感謝の意を表する爲に、此處に名譽會員に御推薦したいと云ふ考を持ちまして、先頃評議員會に動議を提出いたしました所が、満場一致を以て賛同されたのであります。此ことを御報告いたしますと同時に茲に皆様の御賛同を得ることと考へます。

(賛成と呼ぶものあり。拍手起る)

○服部漸君 只今の御話は本會に於ける私の身分に關係することでありまして、誠に分に過ぎたる光榮と存じ又恐縮の至りに考へます。而して之も皆様方の御後援に依ること、存じますので、深く感謝の意を表します。(拍手起る)

○會長(服部漸君) それでは是で議事は終了しました。是から講演會に移ります。

午後 2 時 45 分講演會に移り、鈴木武志、桂辨三、倭國一諸氏の講演あり、盛會裡に午後 5 時 30 分閉會せり。

講演會概況

歐洲鐵鋼業統制組織の近況 製鐵所參事鈴木武志君 獨逸、佛蘭西、英國、米國等の鐵鋼輸出組合聯合組合等に就て詳述せられたるものにして我國製鐵業者に最も有益なるものにして鐵鋼業の合理化等に絶好の參考資料なりき。

歐米に於ける鐵鑪處理の斷片談 東京帝國大學教授工學博士桂辨三君 最近歐米視察談にして主として鐵鑪に關する事項に就きて詳述せられたるものにして、電氣製鐵、含銅硫化鐵鑪の處理、各種燒結法及び海綿鐵製造等の現況並に費用に就て極めて有益なる講演なりき。

平爐噴出口に於ける瓦斯燃燒の實驗 東京帝國大學教授工學博士倭國一君 八幡製鐵所 60 吨平爐の 1/10 大の模型及び此と同大のメルツ爐の模型に就き噴出口の構造並に噴出速度に依り瓦斯及び空氣の噴出並に混合狀態の變化する有様を幼燈を使用して説明されたり。特にメルツ爐は甚だ敏感なるは甚だ興味多かりき。尙本實驗は宮下格之助及中山正大兩工學士の卒業論文題として爲されたるものなり。